

大川市議会・大木町議会との懇談会

平成26年11月14日(金)

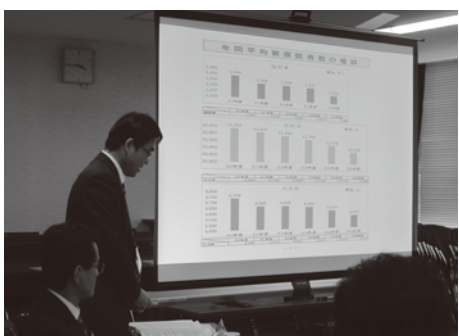
議題 国民健康保険について

一、国民健康保険被保険者数、医療費の推移について
平成20年度から平成25年度の被保険者数は、毎年減少傾向にあるが、医療費は年々増加しており、大木町では平成24年度に大きく増加した。

二、一人当たりの医療費について
平成24年度では、全国平均31万6千円、福岡県34万4千円、大川市34万8千円となっており、大木町は39万6千円と他団体と比べても高額である。

三、年度別の収支状況について
大川市・大木町においても国民健康保険税や国・県の補助金等の収入より、医療費や後期高齢者医療への支援金などの支出が多いことから単年度では毎年のように赤字が続いている。
大木町においては、国保財政が非常に厳しい状況となったため、平成25年度から一般会計から国保特別会計へ2千万円の助成を行った。

四、医薬品の使用については、大川市・大木町ともに医療費を削減し、さらにジェネリック医薬品の推進を行っていくことで議論になった。



研修会の様子



研修会の様子

福岡県町村議会議員研修会

平成27年1月28日(水)

パピオン24 ガスホール

◆第1部

「最近の朝鮮半島情勢と日本」**コリア・レポート編集長 辺真一**
朝鮮半島の情勢について話されました。

◆第2部

「歴史に学び未来を読む」**坂本龍馬と龍馬をめぐる人々**
歴史家・作家 加来耕三

日本人が好きで、さまざまな歴史上の人物を挙げられながら、「右手の法則、左手の原理(隠れている真実を見逃すな)」、「未発の発芽(物事には前兆がある。迷ったら原点に立ち返りブレを修正する)」、「常に数字を重視する。(数字は嘘を言わない。)」などの視点を持つことの重要性を伝えていただきました。

また、「歴史に奇跡や偶然はありえない。また、人間が、ある日突然飛躍したり、変身したりすることはありえない。物事はすべて、成るべくして成り、起こるべくして起こる。」など述べられました。

未来を語るべき私たち議会議員に、歴史に学ぶことの必要性、歴史学から見た俯瞰的視点、何気ない現在の生活の中で、一歩立ち止まって興味を持って考え過去から学び、未来へ活かす訓練を常に続けることを強く望まれました。

両講師とも独特な口調で話され、受講者に問題を投げかけるなど、時間の経つのも忘れる有意義な研修会でした。



研修会の様子